

会社を強くする実効的なBCPの取り組み

中小企業のリスク管理の導入事例を紹介

1. リスク管理の重要性
2. BCP作りとレジリエンス認証取得の実例

2021年2月16日

旭光電機株式会社 代表取締役専務 和田貴志

旭光電機紹介

- 本社:神戸 創業70年
- 電装品・センサを提供
- 交通インフラ
- ビル・施設・食品
- 宇宙
- IoT・AI・ロボット

独創の

センシング
技術

&

コントロール
技術

東海道/山陽新幹線ドア用センサ100%シェア

安全と快適な社会の実現に貢献します

旭光電機が撮像部の開発と製造を担当したJAXA超低高度衛星
「つばめ」(SLATS)がギネス世界記録認定 2019年12月14日

JAXAの宇宙基準をクリア
人工衛星基板を開発・製作しています

レジリエンス認証

- 2019年11月30日に登録
- レジリエンスとは、日本語で「弾力」「復元力」という意味
- ビジネスにおいては、有事の際に企業がしなやかに事業を継続・復旧する強靭性を指す



1. リスク管理の重要性

リスクの存在を理解し、管理可能な対象と気付く
【リスクの種類】

- ①瞬時に発生する重大なリスク
- ②対応の遅れが致命的なリスク

-
- 講演では、中小企業が考えるべきリスクを色々と説明します
 - (資料割愛)

中小企業のリスク管理の重要性

■ リスクの発見

- 自社にどんなリスクがあるかを理解出来る
- 各リスクが会社存続に与える影響度合いがわかる
- 特に致命的なリスクを発見できる
- 顧客や市場の動向もリスクの一つとして扱える

■ リスクの管理

- 事前準備や業務改善で影響を軽減できる
- 回避策から新たなビジネスチャンスが得られる

2. BCP作りとレジリエンス認証取得の 実例

中小企業のレジリエンス認証登録のポイント

- 企業が想定すべきリスクは多数ある
- しかし多数のリスクをまとめて相手にするのは困難

- まずは自社にとって最も脅威と考えるリスクを一つだけ選ぶ
- BCP作りとレジリエンス認証取得でリスク管理のコツをつかんでから他のリスクにも取り組む

- 旭光電機では「震災」を最初の対象とした
- 次に「コロナ禍」を対象に加えた

BCP取り組みの流れ

■ 2018年度

- BCPの策定及びレジリエンス認証取得に向けた計画の立案、
- 担当者の資格の取得(初級管理者資格)・講習受講を実施

■ 2019年度

- BCP策定の為、所属長、Gr長に対し、事業継続推進機構より講師を招き勉強会を実施、又NTS様にもアドバイスを頂きながら社内勉強会を実施
- **BCPを策定、レジリエンス認証を取得**

■ 2020年度

- 新型コロナによる当社のリスクヘッジを実施
- 課題を抽出、対応策を協議し実施
- (訓練:各部署で事前に課題を考え対策を発表、対策の進捗状況、新たな課題抽出、対応策を社内で協議)

-
- 講演では、
 - 自社の事業継続計画書の概要、
 - BCP作成とレジリエンス認証のアクションプラン、
 - を説明します。
 - (資料割愛)

まとめ:レジリエンス認証取得のメリット

■ リスク感度:

- リスクへの迅速な対応が組織的にできるようになる

■ 専門家による評価:

- プロから事業継続の改善提言やヒントが得られる

■ 宣伝:

- 認証マークを名刺や広告等に付して、自社の事業継続のための積極的な姿勢を、顧客や世間一般に対してアピールできる
- 推進協議会や内閣官房国土強靱化推進室のホームページに認証取得団体として公表される(希望者のみ)

■ 優遇:

- 推進協議会より、国土強靱化に関するセミナー・シンポジウムに関する情報が優先的に配信される
- 金融機関等で優遇金利適用などが受けられる(要審査)

中小企業の導入Q&A

- 1. なぜBCP作成やレジリエンス認証取得を行おうとしたのか
- 2. BCP作成で苦労した点
- 3. レジリエンス認証取得で苦労した点
- 4. レジリエンス認証取得で良かったこと